

令和3年1月28日

ICT 推進課 令和2年度報告

報告者 ICT 推進課長 竹下正人

ICT 推進課の重点目標：ICT 機器による授業と業務の効率化・内容の充実・情報の共有

1. classi 運用についての自己評価

自己評価	自己点検・自己評価項目総括
3	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ID/PW 管理</li><li>・ 振り返りアンケート</li><li>・ 生徒カルテによる成績や生徒情報管理</li><li>・ 校内グループ・校内連絡・コンテンツボックスを利用した情報共有</li></ul>

休校期間中に classi 側の問題で運用に支障のある期間はありました、おおむね化で組織的管理・運用ができていたと思います。ジャパンイーポートフォリオが破綻したため classi の当初の導入目的は失われましたが、ポートフォリオ以外の運用は良好だと思います。もちろん、今後も更なる向上を目指す予定です。

2. Wi-fi および共用タブレットの運用について

自己評価	自己点検・自己評価項目総括
2	<ul style="list-style-type: none"><li>・ より効率的なタブレット及び Wi-fi の運用を目指す</li></ul>

共用タブレットの運用に関して、効率化とセキュリティ強化が二律背反であることから、本課としてより多くの先生方に電子黒板を使っていただくために効率を重視した運用を行って

ました。ただ、その結果セキュリティにすこし脆弱性が見られ、現在1台のタブレットが所在不明となっています。このタブレットは捜索を継続します。今後、生徒用タブレットも導入されるので、管理面について見直した必要になると思われます。また、wifiについても原因不明の接続不良が発生することがあります。こちらも今後見直しを続けていきます。

### 3. スタディサプリ運用について

自己評価	自己点検・自己評価項目総括
2	・スタディサプリの運用

スタディサプリは特進ハウスでは担任・教科担当、総合コースでは英数国教科担当が中心となって運用しており、ICT推進課としては生徒のIC・PW管理にとどまっています。定期的な課題配信により多くの生徒が学習習慣を身につけられていると感じています。また、休校期間中の課題としても他の方法よりもすぐれていたと感じています。